第３学年　外国語活動学習指導案

日　時　平成３０年１０月３１日（水）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学習者　十和田市立北園小学校３年１組

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　男子１７名　女子１３名　計３０名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　授業者　ＪＴＥ　伊藤　理子

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ＡＬＴ　バトラー　エヴァン

１　単元名　Let’s Try!1　Unit７　　This is for you.　カードをおくろう

２　単元の目標

・進んで欲しいものを尋ねたり答えたりする。　　　　　（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）

・形の言い方や，欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。　　（外国語への慣れ親しみ）

・形の言い方を通して，日本語と英語の音声の違いに気付く。　　　　　（言語や文化に対する気付き）

【新学習指導要領】

・日本語と英語の音声の違いに気付き，形の言い方や，欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（知識及び技能）

・欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。　　　　　　　　　　　（思考力・判断力・表現力等）

・相手に伝わるように工夫しながら，自分の作品を紹介しようとする。　（学びに向かう力，人間性等）

３　評価規準

【コ】進んで欲しいものを尋ねたり答えたりしている。

【慣】形の言い方や，欲しいものを尋ねたり答えたりする表現で言ったり聞いたりしている。

【気】形の言い方を通して，日本語と英語の音声の違いに気付いている。

４　単元について

（１）教材について

　　　本単元は，まず，さまざまな形を表す語や何が欲しいかを尋ねたり答えたりする表現に出会い，それらの語や表現などを使いながら，普段仲良くしている友達に贈るためのカードを作り，紹介し合う活動を通して相手を大切にする態度を育成することをねらいとしている。友達に「ありがとうカード」を贈るために，相手の好きな形や色を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ，友達の好きな模様のあるカードを作る単元構成になっている。

　　　本単元のゴールで目指す児童の姿は，「相手に伝わるように工夫しながら，自分の作品を紹介しようとする姿」である。その目標達成に向けて，第１時では，形を表す語に出会うとともに日本語と英語の音声の違いに気付き，世界のさまざまなカードについて知る。第２時と第３時では，形を表す語や欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。第４時では，好きな形を集めて友達のためにカードを作成する。第５時では，作成したカードを紹介し合う活動へと単元を構成している。相手に伝わるように工夫しながら友達の好きなものを尋ねたり答えたりして，友達の新たな一面を知ったり，人によって好みが違うことを改めて感じさせる教材である。また，これまでの既習事項を活用させるのに有効な教材である。言語活動は，ＡＬＴと児童やＡＬＴとＪＴＥとのやり取りを取り入れ，児童が自然と尋ねたり答えたりできるようにスモールステップで段階的にゴールへ向かう構成となっている。

３年－１

＜本単元の言語材料＞

|  |
| --- |
| 【主な表現】  What do you want? (A pink star), please. Here you are. This is for you. Thank you. You’re welcome. |
| 【主な語彙】  want, this, a, for, 状態・気持ち（big, small）,形（square, rectangle, star, diamond）, bus,  flower, shop, balloon, house, car, candy,動物（dog, cat, panda, mouse, bear）  （既出）I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don’t. I don’t like (blue).  What (sport) do you like? How many (apples)? 形，色，数（１～３０），tree |

（２）児童について

　　　◇実態調査と結果（調査日：平成３０年７月２０日，調査対象３年１組２９名）

　　　①外国語活動の授業や英語について思っていること，していることを教えてください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | そう思う | | ややそう思う | | やや思わない | | そう思わない | |
| ア | 外国語活動の授業は好きだ。 | 22人 | 76％ | 6人 | 21％ | 1人 | 3％ | 0人 | 0％ |
| イ | 外国語活動の授業では，自分から進んで友達や先生と英語でコミュニケーションをとろうとしている。 | 17人 | 59％ | 10人 | 35％ | 2人 | 6％ | 0人 | 0％ |
| ウ | 分からないことがあっても，ジェスチャーを使うなどの工夫をしたり，他の人に聞いたり理解しようとしている。 | 15人 | 52％ | 10人 | 35％ | 3人 | 10％ | 1人 | 3％ |
| エ | もっと英語が使えるようになりたい。 | 26人 | 90％ | 2人 | 7％ | 1人 | 3％ | 0人 | 0％ |
| オ | 外国語の授業は分かりやすい。 | 24人 | 83％ | 4人 | 14％ | 1人 | 3％ | 0人 | 0％ |

②外国語活動の授業をして，できるようになったことや変化があれば書いてください。

３年－２

|  |  |
| --- | --- |
| 英語を（少しずつ）言えるようになった。 | 19人 |
| ジェスチャーができるようになった。 | 8人 |
| 英語を聞き取れるようになってきた。 | 5人 |
| 英語を大きな声で言えるようになった。 | 8人 |
| ＡＬＴと話せるようになった。 | 2人 |
| 手をあげて，発表できるようになった。 | 2人 |
| わからなくてもチャレンジしてできるようになった。 | 2人 |
| 感想発表でいっぱい手をあげられるようになった。 | 1人 |
| 英語の５つのルールをできるようになった。 | 1人 |

③外国語活動の好きな所や楽しい所を教えてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| チャンツや歌 | 20人 | ゲーム | 21人 |
| クイズ | 12人 | インタビュー | 9人 |
| 先生と英語で話すこと | 1人 | 楽しみながら英語を覚えること | 1人 |

◇考察

　以上の結果から，本学級は外国語活動を楽しみにしていて，学習に意欲をもって臨んでいる児童が多いと言える。外国語活動のある日を待ち望んでいたり，ＡＬＴを迎えに行くときに，積極的に英語で話したりしようとしている姿が見られることからも外国語活動に対する期待が大きいと言える。今年度から初めて外国語活動が始まり，あいさつの仕方を覚えたり，自分の気分をジェスチャーを付けて言ったりすることができるようになり，ますます英語を上手になりたいという向上心を持って楽しく授業に臨んでいる。

　「もっと英語を覚えて外国の人と話してみたい」という児童の願いをかなえられるように，十分なインプットの時間を確保したり，友達とコミュニケーションを図る活動を多く取り入れたりして，「友達に伝えられた。」「友達の話していることがわかった。」など達成感を得て次への意欲を育んでいきたい。

（３）指導について

　　本単元のゴールは，“What do you want?”“（A pink circle）,please.”の表現を使って，お互いに欲しいものを尋ねたり答えたりしながら，日頃感謝している友達のために「ありがとうカード」を作り，紹介し合うことである。単元終末の活動への見通しを持たせ，「面白そう」「やってみたい」という意欲付けを図るために，ＪＴＥが作ったカードを提示してカードの完成イメージを持たせ，どんな形を使っているのか確認し，形の英語表現を導入していく。そして，毎時間導入時でやり取りを行うことにより，その時間で児童がどんなことをするのか，何ができるようになればいいのかがわかるよう見通しを持たせたい。さらに，児童が思わず聞きたくなるようなステレオゲームやマッチングゲームを通して，“What do you want ?”“（A pink circle）, please.”の表現を使って尋ねたり答えたりすることに慣れ親しませていく。また，“Here you are.” “Thank you.” “You’re welcome.”の新しい表現を覚え，コミュニケーションを図る活動を取り入れる。たくさんのコミュニケーション活動を通して，友達のために作るという目的意識・相手意識を持って，友達が欲しいものを尋ねたり答えたりして感謝する気持ちを伝えようとするゴールへと迫っていきたい。

３年－３

５　仮説との関わり

（研究仮説）

仮説１

　「聞く」「話す」必然性のある場面を設定し，「誰に」「何のために」伝えるかを明確にすれば，積極的にコミュニケーションを図ろうとするであろう。

仮説２

児童自らが選択した表現を使って，友達や先生，ＡＬＴに伝える場を工夫すれば，英語に慣れ親しむであろう。

1. 仮説にかかわる手立て
   1. 仮説１に関して

　友達の好きな形や色を使ったありがとうカードを作り，紹介し合う場面を単元の最後に設定する。

　　　・「聞く」「話す」必然性のある場面を設定：ありがとうカードを作り，紹介し合う。

　　　・「誰に」「何のために」伝えるか：友達に，相手を大切に思う気持ちを伝えるため。

* 1. 仮説２に関して

　　“What do you want?” “(A pink circle), please.”を使って繰り返し尋ねたり答えたりする活動を行う。

　　　・伝える場を工夫：児童同士のペア活動やグループ活動，児童対ＡＬＴ，児童対ＪＴＥという活動形態でやり取りを繰り返す言語活動の場を多く取り入れる。

（２）単元全体にかかわる手立て

　　　・表現をやり取りする際に，“Here you are.” “Thank you.” “You’re welcome.”や大きさを表す単語も覚え，コミュニケーションの楽しさを感じることができるようにする。

　　　・「ありがとうカード」を作成する際に，あらかじめ作りたい図のイメージを書かせ，カードに使う色や形の材料を決めておく。

　　　・カードを贈るペアを事前に決定しておき，自分から相手を探してコミュニケーション活動を行うことが苦手な児童も自信を持って活動できるようにする。

６　指導計画（全５時間）

３年－４

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ○目標　　●【　】主な活動　　＜　＞言語材料 | 主な評価規準《評価方法》 |
| １ | ○日本語と英語の音声の違いに気付くとともに，形や身の回りの物を表す言い方を知る。  友だちにありがとうカードを作るために言葉を覚えよう。  ●ＪＴＥとＡＬＴの簡単なやり取りを聞いて，学習の見通しを持つ。  【Let’s Play1】p.27  ・シェイプクイズでシルエットを見てそれが何かを当てる。  【Let’s Play2】p.27  ・ペアや個人でポインティングゲームをする。  【Let’s Watch and Think】p.28  ・誌面の５種類のカードを見て，カードに記された模様などからそれらが何のカードかを考えて発表する。  ・英語の音声を聞いて，何のカードかを確認するとともに，季節や行事などのあいさつの言い方を知る。  ●ＪＴＥやＡＬＴが作成したグリーティングカードを見て，最終活動への見通しを持つ。  ＜square, rectangle, star, diamond, circle, triangle, bus flower shop, balloon, house, car, candy, dog, cat, panda, mouse, bear＞ | 【気】日本語と英語の音声の  違いに気付いている。  《行動観察・振り返りカード》 |
| ２ | ○形の言い方に慣れ親しむとともに，欲しいものを表す表現を知る。  ●ＪＴＥとＡＬＴのやり取りを聞いて，学習の見通しを持つ。  ●Review  友だちにほしい形をたずねたり答えたりしよう。  ・単語の練習をする。  ●Activity１  ・キーワードゲームをする。  ・ミッシングゲームをする。  【Let’s Chant】p.27 What do you want?  ・音声を聞いて言う。  ●Activity２  ・インタビューをする。  ＜What do you want ? ～,please. Here you are. Thank you. You’re welcome. square, rectangle, star, diamond, circle, triangle＞ | 【慣】形の英語表現，欲しい  ものを尋ねたり答えたりして  いる。  《行動観察・振り返りカード》 |
| **３**  **本**  **時** | **○色や形，欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。**  **【Let’s Chant】p.27 What do you want?**  **・音声を聞いて言う。**  **●ＪＴＥとＡＬＴのやり取りを聞いて，学習の見通しを持つ。**  **友だちにほしい色と形をたずねたり答えたりしよう。**  **●Review**  **・単語と尋ね方，答え方の練習をする。**  **【Let’s Listen】p.29**  **・だれの作品かを聞いて，線で結ぶ。**  **●Activity１**  **・ステレオゲーム**  **・全体で何を言っているのか聞き取る活動をする。**  **●Activity２**  **・マッチングゲーム**  **・カードを使って同じカードをマッチングさせる活動を行う。**  **＜What do you want ? ～,please. Here you are. Thank you. You’re welcome. square, rectangle, star, diamond, circle, triangle 色，数＞**  ３年－５ | **【慣】色や形の英語表現，欲**  **しいものを尋ねたり答えたり**  **している。**  **《行動観察・振り返りカード》** |
| ４ | ○欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。  【Let’s Chant】p.27 What do you want?  ・音声を聞いて言う。  ざいりょうあつめをして，ありがとうカードを作ろう。  ●ＪＴＥとＡＬＴのやり取りを聞いて，学習の見通しを持つ。  ●Review  ・前時の表現の練習をする。  【Activity】p.29  ・お店に欲しい形や色をもらいに行く。  ・カードを作る。  ＜What do you want ? ～,please. Here you are. Thank you. You’re welcome. How many ～? This is for you. square, rectangle, star, diamond, circle, triangle 色 数 big, small＞ | 【コ】相手に伝わるように工  夫しながら，欲しい物を尋ね  たり答えたりして伝え合って  いる。  《行動観察・振り返りカード》 |
| ５ | ○相手に伝わるように工夫しながら，自分の作品を紹介しようとする。  【Let’s Chant】p.27 What do you want?  ありがとうカードをしょうかいしよう。  ・音声を聞いて言う。  【Activity】p.29  ・ＪＴＥとＡＬＴのやり取りを見て，練習をする。  ・ペアで  ・グループで  ・全体の前で（代表児童）  ＜This is for you. Here you are. Thank you. You’re welcome. square, rectangle, star, diamond, circle, triangle 色 数＞ | 【コ】相手に伝わるように工  夫しながら，自分で作ったカ  ードを伝え合っている。  《行動観察・振り返りカード》 |

３年－６

７　本時の指導

（１）本時の目標

　　　ステレオゲームやマッチングゲームを通して，欲しい色と形を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

（２）仮説との関わり

　　①「聞く」「話す」必然性のある場面設定

　　　・児童自らが思考し，主体的に言葉を発する喜びを体験させるために，ステレオゲームやマッチング

ゲームの活動を行う。

②伝える場の工夫

　　　・児童が欲しい色と形を尋ねたり答えたりする言い方，お礼の言い方の表現に慣れ親しむために，児

童対ＡＬＴ，児童対ＪＴＥ，児童同士ペア活動やグループ活動を行い，繰り返し話したり聞いたりする。

（３）展開（３/５）

３年－７

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 児童の活動 | 指導者の活動 | | ○指導上の留意点  【　】評価 |
| ＪＴＥ | ＡＬＴ |
| 導  入  ７  分  展  開  30  分  まとめ  ８分 | １　Greeting  “Let’s start English class.”  “Hello, エヴァン先生and 伊藤先生.”  “I’m happy.”  “It’s sunny.”  “It’s Wednesday.”  “It’s October 31th”  ２　Warm-up  【Let’s Chant】  ・“What do you want?”を歌う。  ３　ＪＴＥとＡＬＴのやり取りを聞く。  JTE: What’s this?  児童: It’s a flower.  JTE: That’s right.  ４　Today’s goal  ５　Practice  ・色と形の組み合わせの表現を練習する。  ６　Let’s Listen  ・誰の作品かを聞いて，線で結ぶ。  ７　Activity１  ・ステレオゲームをする。  児童：What do you want ?  ALT：A blue star, please.  JTE：A pink circle, please.  （同時に大きな声で言う）  JTE：Do you understand ?  ・誰が何を言っているのかが分かったら手を挙げて答える。  ８　Activity２  ・マッチングゲームをする。  ・ＡＬＴとＪＴＥのやり取りを見る。  ９　Summing up & Greeting  ・今日の活動を振り返り，カードに記入する。  “Thank you,  エヴァン先生and 伊藤先生.”  “See you.” | ・English five rulesの確認をする。  ・Eye contact  ・Clear voice  ・Smile and try  ・Reaction  ・Gesture  ・一緒に“What do you want?を歌う。  ALT: What do you want?  JTE: A green square, please.  ALT: A green square? OK. Here you are.  JTE: Thank you.  ALT: You’re welcome.  のやり取りを何回か続ける。  ほしい色と形をたずねたり答えたりしよう。  ・色や形に気を付けて聞かせるようにする。  ・ＡＬＴとＪＴＥがやり取りをする。  ・繰り返し色と形の言い方を練習する。  ３年－８  ・ＡＬＴとＪＴＥがやり取りをする。（５枚ずつカードを持ち，同じカードが揃ったら，机の上に置いていく。）  ALT：What do you want?  JTE：A pink star , please.  ALT：Here you are.  JTE：Thank you.  ALT：You’ re welcome.  ない場合は，Sorry.と言って，カードの山から1枚取る。  ・言い方が上手なペアを取り上げる。  ・今日の活動の振り返りをカードに書かせる。  ・できるようになったことを発表させる。  “See you.” | “Hello, everyone.”  “How are you?”  “How is the weather today?”  “What day is it today?”  “What’s the date today?”  ・色と形の組み合わせの表現を発音する。  ・代表児童がピクチャーカードを廊下で選ぶのをサポートする。  ・児童の様子を見ながら，アドバイスをする。  “That’s all for today.”  “See you.” | ○相手の目を見ながらはっきりとした声であいさつをし，意欲的に学習しようとする雰囲気を高める。  ○楽しい雰囲気を作る。  ○学習の見通しを持たせる。  ○どんな色や形が聞こえたか，会話の内容が理解できたかなど確認しながら進めていく。  ○“What do you want?” “～, please.”の言い方も練習する。  ○英語を聞いて分かったという成功体験を味わわせる。  ○代表児童は廊下でピクチャーカードを選び教室の前に３人並ぶ。  ○児童に色と形の英語  表現や欲しい物を尋ねたり答えたりする言い方を繰り返し声に出すことで，表現に慣れ親しませる。  〔仮説１〕  ○児童同士のペアで活動を行う。  〔仮説２〕  ○表現にさらに慣れ親しませるために，“Here you are.” “Thank you.” “You’re welcome.”などの表現も覚え，コミュニケーションの楽しさを感じ取ることができるようにする。  〔仮説１〕  【慣】色や形の英語表現，欲しいものを尋ねたり答えたりしている。  《行動観察，振り返りカード》  ○できるようになったことを発表させることにより，達成感や満足感を味わわせる。 |

３年－９